

体験の風をおこそう[®]



子どもの頃の体験は豊かな人生の
基盤になります (詳しくは裏面をご覧ください)



よく遊び！

よく学ぶ！



「体験の風をおこそう」運動[®]とは

近年、社会が豊かで便利になるなかで、子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している傾向にあります。

「体験の風をおこそう」運動は、子どもの健やかな成長に、体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高める運動です。

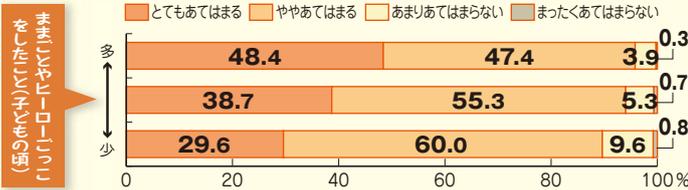
体験の風
GACHAPIN・MUKKU

子どもの頃の体験は豊かな人生の基盤になります！

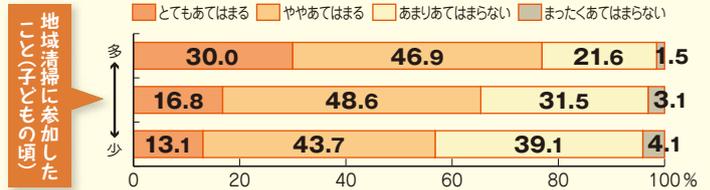
子どもの頃の様々な体験が豊富な人ほど、大人になってからのやる気や生きがい、モラルや人間関係能力などの資質・能力が高い傾向にあります。

子どもたちの健やかな成長には普段からの、友だちとの遊び、お手伝いや地域での活動などが大切です。

電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う(現在)



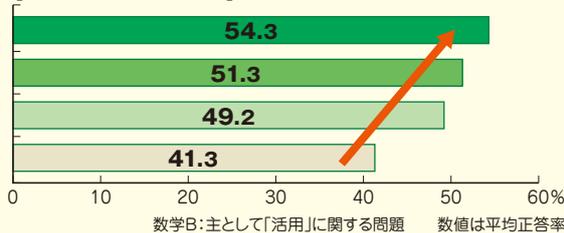
経験したことのないことには何でもチャレンジしてみたい(現在)



出典 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」 国立青少年教育振興機構 平成22年

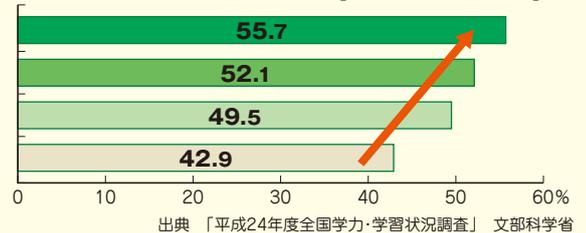
「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」と回答している子どもの方が、学力調査の平均正答率が高い傾向にあります。

【中学校3年生 数学B】



自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある

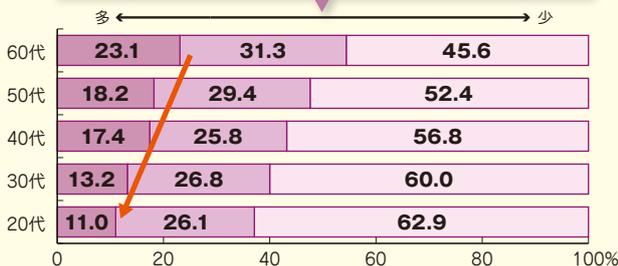
【中学校3年生 理科】



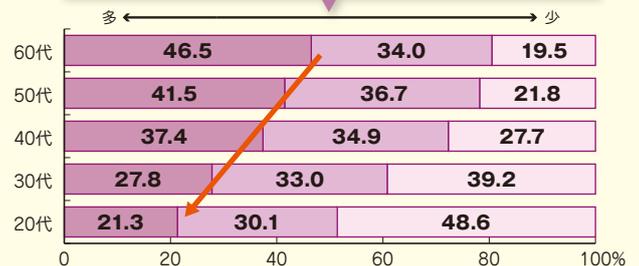
出典 「平成24年度全国学力・学習状況調査」 文部科学省

子どもたちが、自然のなかや、友だちと遊ぶなどといった体験の機会が減少しています。

中学生の頃に海や川で目を採ったり魚を釣ったりしたことの推移



小学校4～6年生の頃にすもうや、おしくらまんじゅうをしたことの推移



出典 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」 国立青少年教育振興機構 平成22年

社会全体で子どもたちに体験活動の機会を提供し、子どもたちの健やかな成長を図りましょう。

「体験の風をおこそう」運動に参加してみませんか。10月は体験の風をおこそう推進月間です。

●保護者の皆様へ

お子さんには、日頃から家事のお手伝いや、地域の行事に参加する機会をつくってみてはいかがでしょうか。

「体験の風をおこそう」運動のイベントやフォーラムへのご参加もお待ちしております。



●青少年教育施設、青少年団体等の皆様へ

体験の風をおこそう推進月間事業や、「子ども体験遊びリンピック」にエントリーしてみませんか。

「子ども体験遊びリンピック」とは、全国統一イベント(平成28年10月22日(土))を中心に行われる、子どもと家族が参加できる競技性のある種目のことです。



詳しいイベント情報については、ホームページをご覧ください >>> <http://taikennokaze.jp/>

体験の風

お問い合わせ >>> 「体験の風をおこそう」運動に関するお問い合わせは、こちら!

体験の風をおこそう運動推進委員会事務局 (国立青少年教育振興機構)

TEL 03-6407-7621 E-mail taikennokaze@niye.go.jp



このQRコードはホームページアドレスです。



「体験の風をおこそう」運動イメージイラスト
(作: 体験の風をおこそう運動推進委員会 松本零士委員長(漫画家))

体験の風をおこそう運動推進委員会 構成団体

ガールスカウト日本連盟 国立青少年教育振興機構 自然体験活動推進協議会 社会通信教育協会 全国学校栄養士協議会 全国公民館連合会 全国子ども会連合会 全国児童養護施設協議会 全国スポーツ推進委員連合 全国ラジオ体操連盟 日本キャンプ協会 日本子守唄協会 日本青年団協議会 日本体育協会日本スポーツ少年団 日本PTA全国協議会 日本ユースホステル協会 日本レクリエーション協会 ハーモニセンター ポーイスカウト日本連盟